

シラバス「郷土の音楽」

教科	芸術科 (郷土の音楽)	単位数	2単位	学年・組	3年1~4組 自由選択
使用教科書	五線譜で弾く沖縄三線教室 (千野出版)				
副教材等	手習い 沖縄の三線(目取真永一)、島唄(DOREMI)、その他				

1. 学習の目標

- ①音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を高める。
- ②感性を高め、音楽のよさや美しさを感じ取って、創造的な音楽活動の工夫ができる。
- ③自己のイメージを表現するための技能を身につけ、それを生かして創造的に表現することができる。
- ④多様な音楽に対する理解を深め、創造的に鑑賞することができる。

2. 学習の計画

学期	月	配当時間	教材	指導目標	備考
一学期	4	2	オリエンテーション	郷土の音楽の授業内容について	基礎資料アンケート実施
		4	歌唱(斉唱) ・涙そうそう ・さとうきび畑 ・島唄 ・安波節	リズム、音程を正しく歌えるようにする 郷土の音楽が沖縄の音楽としてさまざまなジャンルで展開されていることを理解する	積極的に授業に取り組む 【関心・意欲・態度】
	5	4	三線基礎 ・容易な練習曲 ・安里屋ユンタ ・安波節 ・三線指導ビデオ	楽器の特徴・名称等を理解する 古典音楽と民謡の歴史を理解する 基本的な奏法を身につける 表現を工夫した演奏を行う	音楽史的観点を持たせる 【音楽表現の技能】
		2	音楽理論 ・工工四 ・タブラチュア	文字譜と図形譜の2種類の記譜法を理解する	三線用TAB譜を活用 【関心・意欲・態度】
	7	8	三線演習 ・遊びシヨングナー ・海ぬちんぼーらー ・シヨングネ節 ほか	演奏できる楽曲を増やす 工工四、TAB譜を読譜し自力で楽曲演奏を習得することができる	実技テスト実施 【音楽表現の技能】
		4	鑑賞 ・組踊り	音楽を構成する様々な要素を感じ取り、 音楽の美しさを感じ取る 楽曲の歴史的背景を理解する	DVD鑑賞 感想文提出 【鑑賞の能力】
	二学期	9	12	三線演習 ・西武門節 ・ていんさぐぬ花 ・ヒヤミカチ節 ・唐船ドーイ	演奏できる楽曲を増やす 民謡を演奏する テンポの速い楽曲の演奏ができるようにする
10			4	訪問演奏に向けて ・既習曲の仕上げ	訪問演奏を見据えて選曲し、仲間で話し合いながらグループ分けをする 演奏会・リハーサルの企画運営を行う

	11 12	10	混声合唱 ・おきなわのわらべ歌 (合唱編曲編) クラスコンサートに向けての取り組み	沖縄の音楽が現代的な手法で編曲され変化を続けていることを理解する 合唱の基礎・基本を学ぶ	実技テスト実施(歌唱) 【音楽表現の創意工夫】 【音楽表現の技能】
三学期	1 2	10	クラスコンサートにむけて	他のグループとの比較鑑賞を行い、鑑賞の能力を高め、ステージマナーや時間の芸術である音楽の楽しさ厳しさを味わう	実技テスト実施 【鑑賞の能力】 【音楽表現の創意工夫】 【関心・意欲・態度】
	3		音楽映画の鑑賞 ・日本の伝統芸能編	日本各地の伝統音楽の表現の多様性を学ぶ。 郷土の音楽の集合が日本の伝統音楽であることを理解し、国と郷土の文化を尊重する態度を学ぶ	DVD鑑賞(鑑賞の能力) 感想文提出 【鑑賞の能力】

3. 評価規準・評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
音楽を愛好し、音や音楽に関心を持ち、意欲的、主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとする。	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、創造的な音楽活動の工夫をする。	自己のイメージを持ち、創造的な表現をするための技能を身につけている。	多様な音楽を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わう。
授業態度 学習の取り組み状況 (観察・聴取) 学習プリントの作成状況	学習の取り組み状況 (観察・聴取)	実技課題進捗状況 (実技テスト) 学習の取り組み状況 (観察・聴取)	学習プリント

学習の取り組み状況（観察・聴取）、実技課題進捗状況、学習プリント、ペーパーテスト、実技テスト、授業態度を総合的に判断して決定します。

4. 担当者より

- ・「郷土の音楽」は、学校設定科目です。つまり、本校独自の科目です。沖縄の音楽を平易に様々な角度から学習していきます。
- ・1・2年生時に書道や美術を履修した生徒も選択できます。そのため音楽Iで学習する内容から音楽の諸要素についての学習も適宜指導します。
- ・本校では、40丁の三線が用意された学習環境があります。1人に1丁の三線が用意されています。郷土の音楽に親しむ目的で簡易な楽曲による歌三線の学習をします。
- ・2学期に国立劇場沖縄での組踊鑑賞の実施及び、地域の老人介護施設での訪問演奏を行います。
- ・3学期にクラスコンサートを実施しています。表現領域の最終発表の場としてのコンサートを生徒自身の手で企画・実施させたいと考えています。
- ・古典・民謡のほか現在の沖縄の音楽環境において、郷土の音楽がどのような状況にあるのかについても考察していきます。